コースコード：RH-RH294
税込価格：277,200円 (税抜価格：252,000円)
日数：4日間

ここに注目!!

受講対象者

このトレーニングはこのような方におすすめです。

このコースは、以下のタスクを担当する Linuxシステム管理者、DevOpsエンジニア、インフラストラクチャ自動化エンジニア、システム設計エンジニア向けに作成されています。
・構成管理の自動化
・再現性のある一貫したアプリケーション・デプロイメント
・開発、テスト、プロダクション向けサーバーのプロビジョニングとデプロイ
・DevOpsの継続的インテグレーション/継続的デリバリーのワークフローとの統合

前提条件/前提知識

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

RHCSA 認定試験 (EX200) に合格済み、または同等の Red Hat Enterprise Linux の知識と経験を有する

無料のスキルチェック (https://www.redhat.com/rhtapps/assessment/) でこのコースが自分のスキルに最適かどうかを確認してください。

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

自動化を通じて手作業を排除し、運用効率を向上させる

組織の動的な IT インフラストラクチャを容易に拡張する

アプリケーションの価値実現までの時間を短縮する

必要とされるイノベーションを DevOps 手法によって迅速に適応させ、実装する

このコースはお客様にメリットをもたらすように作られていますが、個々の会社やインフラストラクチャの特徴は異なるため、実際に得られる利点には差異が生じることがあります。

Ansible Playbook を効果的に作成し、Red Hat Ansible Automation Platform を適切に利用することで、自動化の第一原則を適用して実際の Linux システムとサービスの問題を解決できるようになります。ワークフローを自動化するスキルを獲得し、DevOps 手法の基盤を構築し、Ansible Automation Platform を活用して開発効率を向上させる方法を学習します。

アウトライン

Ansible の概要
Red Hat Ansible Automation Platform の基本概念とその使用方法を理解し、Red Hat Ansible Automation Platform をインストールします。

Ansible Playbook の実装
管理対象ホストのインベントリーを作成し、簡単な Ansible Playbook を記述します。また、Playbook を実行してそれらのホストでタスクを自動化します。

変数およびファクトの管理
変数を使用する Playbook を作成して、管理対象ホストの情報を参照する Playbook とファクトの管理を単純化します。

タスク制御の実装
Ansible Playbook でのタスク制御、ハンドラー、およびタスクエラーを管理します。

管理対象ホストへのファイルのデプロイ
Ansible で管理されるホスト上のファイルをデプロイ、管理、調整します。

複雑な Play と Playbook の管理
より大規模で複雑な Play および Playbook 向けに最適化された Playbook を作成します。

ロールによる Playbook の単純化
Ansible のロールを使用して Playbook の開発を迅速化し、Ansible コードを再利用します。

Ansible のトラブルシューティング
Playbook と管理対象ホストをトラブルシューティングします。

Linux 管理タスクの自動化
一般的な Linux システム管理タスクを Ansible で自動化します。

注：学習内容は、テクノロジーの進歩や対象業務の性質の変化に伴って変更されることがあります。